

平成28年度第1回公立大学法人熊本県立大学理事会 議事録

日時：平成28年6月28日（火）午後3時30分～午後4時30分

場所：熊本県立大学 本部棟2階大会議室

出席：

＜理事＞	理事長	五百旗頭 真
	副理事長（学長）	半藤 英明
	理事（事務局長）	仁木 徳子
	理事（副学長）	津曲 隆
	理事	小栗 宏夫

＜監事＞	監事	清水谷 洋樹
	監事	河喜多 保典

＜事務局＞ 本田事務局次長、多田隈教務入試課長、坂本学生支援課長、前田総務課長、
花村企画調整室長、福島地域連携・研究推進センター事務長、
安達学術情報メディアセンター事務長、
山瀬総務課総務班長、西村総務課財務班長、
松本企画調整室主事

I 開会（進行：事務局次長）

II 理事長あいさつ

理事長のあいさつ後、今回からの参加となる半藤学長及び河喜多監事の紹介がなされ、それぞれから挨拶があった。

III 議題（議長：五百旗頭理事長）

＜審議事項＞

1 平成27年度業務実績に係る自己点検・評価及び業務実績報告書について

事務局から、資料1に基づき、平成27年度業務実績に係る自己点検・評価について、全64項目中、A～Dの4段階評価でA及びB評価が63項目であり、おおむね順調に実施できたと総括していること、また、「教育の質の向上」「特色ある研究の推進」「地域貢献活動の更なる推進」「国際化の推進」「学生生活支援」及び「業務改善」のそれぞれの主な実績、B評価とした項目（計画番号64番の教職員のストレスチェックの実施準備）及びC評価とした項目（計画番号13番の管理栄養士国家試験の合格率）の内容、並びに平成26年度業務実績評価書で課題とされた2つの事項の対応について説明があった。また、6月末までに県の法人評価委員会に提出する業務実績報告書は、この自己点検・評価

結果を基に作成するとの説明もあった。

加えて学長から、まずまず着実な仕事ができたと、B評価とした教職員ストレスチェックは11月末までに実施する予定であること、また、C評価とした管理栄養士国家試験合格率については、学科で対策を努力しており、更なる教育改善を図り向上につなげていくよう大学としてもサポートしていきたいとの補足があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

なお、理事長から、「全体的な状況」に、順調に実施できなかった事柄の記載も行うことを検討されたいとの意見が付された。

2 平成27年度決算について

事務局から、資料2に基づき、平成27年度決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、損益の処理に関する書類(案)、決算報告書により説明があった。経常損失は約4千万円で、平成25年度から26年度に整備した各種情報システムの減価償却費及び支払利息の増が主な要因であるが、この損失については、法に基づき、教育研究等環境整備目的積立金の取崩しの承認を県に求めるとの説明がなされた。

続いて、河喜多監事から監査報告の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

3 教員採用に係る枠取りについて

学長から、資料3に基づき、前年度退職教員の補充として、次の枠取りをしたいとの説明があった。

- ・ 環境共生学部居住環境学科 都市計画学 准教授又は講師 H29.4 採用予定 1名
- 審議の結果、案のとおり承認された。

<報告事項>

1 平成29年度入学者選抜の実施方針について

事務局から、資料4に基づき、平成29年度入学者選抜の実施方針として、学部入試については、選抜方法及び実施方法は前年度同様であるが、募集人員は環境資源学科の農業・林業・水産科推薦入試は前年度の2名から若干名に、これに伴い同学科の一般入試後期日程を前年度の10名から12名に変更したこと、また、大学院入試については、選抜区分、募集人員とも前年度同様であること、加えてそれぞれの選抜の日程並びに入試広報実施予定について説明があった。

2 平成28年度入学者の状況について

事務局から、資料5に基づき、平成28年度入学者の状況の概要について、学部入学者の定員充足率は109.8%、男性は前年度比0.5ポイント減の35.7%、県内は前年度比8.0ポイント増の78.2%であったが、県内生の増は志願者減少の影響

と考えられること、高校別には上位3校の割合が増加していること、また、大学院入学者の定員充足率は67.2%であったことなどの説明があった。

3 平成28年3月卒業者の就職等決定状況について

事務局から、資料6に基づき、平成28年3月卒業者の就職等決定状況について、就職率は前年度比0.1ポイント増の94.2%で、県立大に移行した平成6年度以降最高値であったこと、民間企業への就職率も前年度比0.2ポイント増の93.2%であったこと、就職決定者中、熊本に本社のある企業へは54.6%、九州内に本社のある企業へは70.2%で、地元志向・九州志向が高い状況であることなどの報告があった。

4 客員教授の選考について

事務局から、資料7に基づき、客員教授に1名の任命を行う予定であり、その候補者名及び選考理由などの報告があった。

5 熊本県立大学未来基金の平成27年度収支状況等について

事務局から、資料8に基づき、熊本県立大学未来基金の平成27年度収支状況等について、平成27年度は880万円余の寄附があり、基金創設以来の寄附金総額は1億2700万円余（申し出分含む）となったこと、修学支援や海外留学支援の4つの奨学金の支給及び国際シンポジウム開催経費の一部に活用して830万円余の支出を行ったこと、収支残（次年度繰越）は一般寄附金で4000万円余、特定目的寄附金も併せて6300万円余であり、今後も奨学金、国際シンポジウム、サバティカル研修助成に活用予定であることなどの報告があった。

6 学長選考会議委員の選出について

事務局から、資料9に基づき、任期満了に伴う学長選考会議委員の選出について、経営会議からは小栗理事、横田委員及び仁木事務局長、教育研究会からは平野委員、松添学部長及び宮園研究科長の計6名が選出されたとの報告があった。

IV その他

- 理事から、熊本地震の平成28年度予算への影響について質問があった。

事務局から、被害状況並びに国の負担(補助)制度活用のための手続状況及び県との協議状況等の報告があり、事務局長から、費用額がある程度判明次第、補正予算なども含め、今後何らかの形で協議等させていただきたいと考えているとの回答があった。

- 次回理事会は、10月18日(火)の15時30分に開催する予定。

V 閉会